

シラバス

| 教 科 | 科 目 | 単位数 | 学 年 | コ ー ス | 組 |
|------|---------|-----|-----|-------|------|
| 地歴公民 | 地 理 総 合 | 2 | 1 | / | 1～10 |

| | | | |
|-----|-----------------|-----|--------------------|
| 教科書 | 帝国書院 高等学校 新地理総合 | 副教材 | 帝国書院 世界の諸地域NOW2024 |
| | 二宮書店 基本地図帳 | | |

| | |
|-------|---|
| 科目の目標 | <p>1. 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景, 日常生活との関連を踏まえて考察する。</p> <p>2. 世界の諸地域の地理的特徴を理解し, 環境問題や社会問題についての関係性を理解する。</p> <p>3. 地理的思考力を身に着け, 今を生きる私たちが持続可能な社会の為にどのような形で社会と関わられるか考える。</p> |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| 科目の概要 | <p>現代世界の地理的な諸地域(東アジア, 東南アジア, 南アジア, 西アジアと中央アジア, 北アフリカとサハラ以南の アフリカ, ヨーロッパ, ロシア, アングロアメリカ, ラテンアメリカ, オセアニア)に対する関心と課題意識を高め, 地域性を 踏まえて多面的・多角的に学ぶ。</p> |
|-------|---|

| 観点別評価 | | | |
|-----------------------|--|--|---|
| 3 観 点 | ○「知識・技能」 | ○「思考力・判断力・表現力」 | ○「主体的に学びに向かう態度」 |
| 10 の 力 | ①「知識・技能」 | ②「課題対応力」, ③「論理的思考力」, ④「原因分析力」, ⑤「傾聴力」, ⑥「受 信・発信力」, ⑦「協働力」 | ⑧「行動力」, ⑨「自己管理能力」, ⑩「自 己実現力」 |
| 観 点 の 評 価 | <p>地理に関わる諸事象に関して, 世界の生活文化の多様性や, 地理的特性, 環境問題, 地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。</p> <p>地図や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に読み取る技能を身に付けている。</p> | <p>地理に関わる事象の意味や意義, 特色や相互の関連を, 位置や分布, 場所, 人間と自然環境との相互依存関係, 地域などに着目して, 概念などを活用して多面的・多角的に考察する。また, 地理的な課題や解決方法について他者と議論して, より妥当な知恵を見出し, それらを適切に言語化する力を身につける。</p> | <p>授業の内外で, 地理に対して興味や関心を深め, 積極的に学習する力を高める。地理的思考力を大事にして, 現在の社会のありようを捉え, 自分が社会のなかで何ができるかを考え, よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。</p> |
| 評 価 の 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 | <ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ, 解決する過程での議論の様子 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動の様子 |

| 学 習 計 画 | | |
|-------------|---|---|
| 学期 | 学 習 内 容 (単 元) | 単 元 別 学 習 目 標 |
| 1 学 期 | 2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 5節 世界の産業と人々の生活 追及事例 産業2 ：経済成長による人々の生活の変化 -東アジア- 【1学期 中間試験】 5月20日～23日 | 世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取り広い視野から異文化を理解・尊重する態度を身につける。中国の自然と農業を学び第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活や文化が、近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解し、中国と日本の関係について考える。 |
| | 2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 5節 世界の産業と人々の生活 追及事例 産業2 ：経済成長による人々の生活の変化 -東アジア- 2節 世界の気候と人々の生活 追及事例 自然2 ：モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア- 【1学期 期末試験】 7月1日～5日 | 韓国について、第二次世界大戦後の朝鮮半島の歩みや自然環境、激変した経済と社会や生活・文化に注目し、日韓交流と将来の日韓関係について考える。東南アジアという地域に注目し、農業に大きく影響する自然環境や、現在の民族・宗教分布とその背景と知識を学び、伝統と高い経済成長による変化について理解を深める。ASEANの結びつきについて理解し、東アジア共同体の実現に向けた展望と課題について考える。 |
| 2 学 期 | 2部 国際理解と国際協力 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 追及事例 宗教1 ：イスラームと人々の生活の関わり-中央・西・アジア,北アフリカ- 追及事例 宗教2 ：ヒンドゥー教と人々の生活の関り -インド- 【2学期 中間試験】 10月15日～18日 | インドを中心とした南アジアで暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び、特にインドの宗教と密接に関連した生活と変化について、理解を深める。ムスリムが多く暮らす北アフリカ・西アジア・中央アジアでは、乾燥、イスラーム、石油という地域性を知識として身につけ、パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深める。 |
| | 2部 国際理解と国際協力 4節 歴史的背景と人々の生活 追及事例 歴史2 ：植民地支配の歴史と人々の生活の関わり -サハラ以南アフリカ- 追及事例 歴史3 ：国家体制の変化と人々の生活の関り -ロシア- 5節 世界の産業と人々の生活 追及事例 産業3 ：地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ- 【2学期 期末試験】 12月2日～6日 | ネグロイド系の人々が多く暮らすサハラ以南のアフリカに注目し、現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを主な国の具体例などから学び、その課題に向けてとられている対策を理解する。ヨーロッパの中の自然環境の違いや、たどってきた歴史の違い、すなわち地域性を学び、一体化の進むヨーロッパ社会の現状をEUの結びつきの過程などから理解する。ロシアとその周辺諸国について、ソ連時代からの過程や解体後のロシア人の生活などの変化を学習する。 |
| 3 学 期 | 2部 国際理解と国際協力 5節 世界の産業と人々の生活 追及事例 産業1 ：産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国- 2節 世界の気候と人々の生活 追及事例 自然1 ：乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 -オセアニア- 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日 | アメリカ・カナダでは、移民社会と現在の多文化社会が、産業・大衆文化の形成にどのような影響を与えてきたかを理解する。多様な民族からなる中央・南アメリカにおいても、課題も含め理解する。多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドでは、結びつきを強めているオセアニア地域について考察する。 |